

（3月16日）

本日の新聞論調（第四百六十六號） 内閣情報部一五・三・一六（土）

内 容 目 次

△明年度豫算成立

- 一、豫算無修正成立す（朝日）
- 一、明年度豫算の成立（日日）
- 一、豫算の膨脹と政府の責務（中外）

一、豫算の進力（報知）

- △現銀協定の影響（讀賣）
- △早出早退け案（讀賣）

× × ×

△明年度豫算成立

一、豫算無修正成立す（朝日）

議會は無修正のまま豫算案を成立せしめたが、一般會計、特別會計、臨時軍事費を合せて百五十億圓を突破する厯大豫算が、物動計畫及生産力増充計畫の現状よりみて果して支障なく實施され得るやについて議會において十分納得を得なかつたのは遺憾である。苟くも重大時局に際し豫算を成立せしめる以上は、政府も民間もこれを支障なく遂行するだけの

内閣情報部一五・三・一六

日清戦争の終結を期して、政府は豫算案を提出し、議會に提出せしめ、議會は豫算案を無修正で成立せしめた。これは豫算の膨脹を抑制し、財政の健全化を図るに資するものである。政府は豫算案の成立を歓迎し、豫算の遂行に努むるべきである。民間も豫算の遂行に協力するべきである。

豫算案の成立は、政府の責任を重くするものである。政府は豫算案の成立を歓迎し、豫算の遂行に努むるべきである。民間も豫算の遂行に協力するべきである。

豫算案の成立は、政府の責任を重くするものである。政府は豫算案の成立を歓迎し、豫算の遂行に努むるべきである。民間も豫算の遂行に協力するべきである。

方策を必要とするといふまでもない。豫算はよし戦時豫算であらうとも必要あらば修正せらるべきであり、修正せられたる豫算は断乎實施せらるべく、そのためには日本經濟の再編成もまた断行されねばならぬ。かく一貫した實踐意思があつてこそ厩大豫算として權威を帯びるのである。豫算成立の経過をみるに、かかる趣は少しも看取されず、議會側は戦時豫算なる故に無修正可決の外なしの態度、政府側は議會さへ通ればよいといふので兩者とも遺憾な點が多い。更に國民として厩大豫算案に對する覺悟は如何。これが何よりも重要である。國民にこの豫算案を受入れるだけの自覺と用意がなければ各種不幸なる事態釀成を免れぬであらう。時局の重大性は政府の方策に對する單なる批評的立場にあるだけでは國民の役目は濟まぬ所まで來てをり、むしろ進んで政府に働きかけねばならぬ。政府の物價對策、生産力擴充對策、一として安心して得るものがないからである。

一、明年度豫算の成立(日日)

石炭助成費、肥料對策費を主とする第二次追加豫算を加へて明年度豫算總額は百五億五千七百卅三萬一千圓の巨額となる。この中増税及煙草の値上等による收入六億圓は重複してあるから控除するも百億圓に近い巨額となり、これと共に十五年度公債發行計畫も合計六十億二千六百九十萬圓となつて十四年度に比し一億四百二十二萬九千圓の發行増となる。この未會有大豫算の運行如何は今後の國運を左右する重要なこととなる。購買力の公債化等により凡ゆる方面から徹底せしめる必要がある。財政緊縮、元費の大削減、或程度の増税も可能性がある。之を斷行しなれば物價政策も通貨收縮もいよいよ難事となり、何れにせよこの厩大豫算案の運用には眞剣な努力が必要である。

一、豫算の膨脹と政府の責務(中外)

政府の言ふ如く、豫算の大削減又は實行豫算編成は現下時局に鑑み實行の餘地なしとするは、政府は議會に於て、先づ豫算の實行問題につき確信ある施策方針を明示する責任あり、又この點を可及的詳細、具體的に説明することが國民のインフレ意識の昂揚を抑へ官民の相刺摩擦を緩和する所以である。然るに政府は回辯的態度と機密一點張りて押通し議會各派も其主張を貫徹する氣魄なく、勝味裡に厩大豫算は兩院を通過した。三土豫算委員長が政府に對する政黨の疑懼と不安を代辯したが、之は同時に國民の政府に對する疑念であり不安である。政府は首相が公約せる所を實踐に移し今後共豫算の節減に努力を拂ふべきは勿論、適當の時期に實行豫算編成も辭すべきでない。

一、豫算の幕進力(報知)

十五年度總豫算は十五日無修正成立した。政府は之が實施に當り責任をもつとの言質を幾度か與へたが、最早單なるかけ聲政策だけで今後派生する厩汎深刻な影響を處理することは難い。歳出額の増大、公債發行額の累増は戦時財政政策が益々強化され、或意味で日本の經濟機構が根柢から編成替へされなければならぬことを示唆してゐる。この嚴かな事實の前に眼を塞ぎ耳を掩はんとする現狀維持論者の行爲が如何に愚拙のものかは論ずる迄もない。數字は常に冷酷に人に迫る。

△現銀協定の影響（讀賣）

天津英租界現銀一千四百萬圓引渡し問題は英大使谷次官の折衝により、現銀は引續き英總領事館に保管すること、右は日英共同管理とし、殊に管理委員會には米國代表を參加せしめることその他の條件で協定成立したと報ぜらる。何故米國代表を參加せしめるか。恐らく米國極東政策に期待をかけたつある英國と蔣介石とが、この際米國の參加を有利として、駐支英米大使と重慶當局の策動奏效しこの結果をもたらしたものと推測される。この事たる現銀處理に止まらず、將來極東問題に對して何事についても米國の參加、發言を認むべき先例となるの慮れなしとするであらうか。我等は之を重大視せざるを得ぬ。新政府誕生を控へて、第三國との懸案を解決し摩擦面を少くしておくことは希望する所だが、されはとて今回の解決法が機宜に適した措置と認むべきであらうか。

△早出早退け案（讀賣）

衆議院は官廳の出勤退出時間を一時間繰上げるべしとの建議案を可決した。第一に考へられるのは所在に殺人的ラッシュアワー風景の見られる今日、たゞ々々電力節約のため車臺を減じてある市内外の電車の混雑は益々甚だしくなるが果してそれでよいのかどうか。又住宅離から郊外へ通勤距離と時間の延長を余儀なくしてある現狀に反比例して無理があるのではないか。電力節約を基礎に官廳の出勤時間を考へるのもさういふ筋道ではないか。出勤時間は職務能率の向上から出發すべきである。民間なら半時単位で片づく仕事も二日も三日もかかる所謂お役所式を改める工夫をするのが若干の電力節約より大切である。早出早退け案が悪いといふのではないが、形を見て實質を思はず、小利に拘つて大利を忘れるのは愚である。

△其他（略）「對歐和平工作の頓挫」（日日）

「報國債券否認の思想的論據」（報知）、「爭議増加と賃銀問題」（國民）、「豫算の成立、會期の延長、政黨に異變、信用の減退、頑冥の米國」（都）

137

1 (3月16日)

本日
の
新聞
概観

第百八十二號

内閣情報部報道班一五三二六(土)

△概観

本日朝刊は大體特派大使人選と政民三派の税革修正案が中心である、總豫算成立は夕刊で入れて居るので、朝刊では可決に至る経過として報道してある、報國債券反對に大童の「報知」は本日また論説で取上げ、「報國債券否認の思想的論據」を掲げて居る、

△國內關係

一、政民三派の税革修正案

昨夜晩くまで小委員の協議が續けられたので、各紙とも版を遅くしてその経過を入れて居るが、「朝日」のみは「今曉三時に妥協成立」を入れて居る、他紙はそこまでははいつてゐない、「報知」は右に關し「政府としては、衆議院の修正意見が税革の根幹にふるる場合は應諾せず」と特報してゐる。

二、特派大使問題

阿部大將と首相の協議について、書記官長談が發表されたので、各紙とも大きく扱つて居る、掲載禁止中なので、直接阿部大將と大使とを結びつけることが出来ないで、各紙とも苦心の跡が窺はれる、止むを得ない扱ひ方であらう、「朝日」は人選決定は一兩